

平成26年01月10日ラジオ番組内容

139. 『西洋医学に対する東洋医学的』

「東洋医学的」と言うと何か謎めいていて、怪しい雰囲気であったり、何でもかんでも治ってしまうようなイメージをお持ちの方もたくさんいるかと思います。

しかし「ツボ」・「気」などのように、実態がよく分からないものばかりだけではなく、科学的な根拠がしっかりある治療法もたくさんあるのですよ。

東洋医学というものを分かってもらって、皆様の健康に少しでもお役に立てたらなと考えています。

本当は東洋医学的とするよりも「現代西洋医学に対する代替医学」とお伝えしたほうが正解だと思うのですが、

より身近に「西洋医学に対する東洋医学」ということで、お話したいと思います。

目覚ましい化学・工業技術の進歩によって、色々なすばらしい検査機器と治療器械が開発されている現代西洋医学。

それにより一昔前と比較すると、不治の病が治癒可能となり、治せる病気が格段に増えてきているのは間違いないですよ。

しかしここで少し疑問がわきませんか？

病院に行くとそこは多くの患者さんであふれかえり、

健康保険は破綻寸前・・・治せる病気が増えたにもかかわらず、病人は一向に減る気配は無いようです。

いったいどうなっているのでしょうか???

つまりこれは現代の医学の進歩により治せる病気は増えたけれど、治せない病気もしくは治し方が分からない病気と高齢化による複合的な病がそれ以上に増えていると言えるのではないのでしょうか？

「歳だからしょうがないね」「検査の結果は問題ないね」このように言われても、症状はある・痛い・・・

この辺のすっきりしないところを補っていくのが、

我々の東洋医学＝代替医学と言う事になってくるのではないかと私は思っております。

実際にアメリカでは莫大な国家予算をかけて、代替医学を研究し医療費の削減を試みているのですよ。